

## 【第3学年算数】 小数の意味や小数の加法及び減法の計算の仕方についての理解を深める。

### 1 単元名 小 数

### 2 単元のねらい

- 小数を用いると、整数で表すことのできない端数部分の大きさを表すことのできるこのよさに気づき、小数を生活や学習に進んで用いようとする。
- 小数の仕組みや構成、加法及び減法の計算の仕方を考え、表現することができる。
- 端数部分の大きさを小数を用いて表したり、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法及び減法の計算をしたりすることができる。
- 小数が用いられる場合や小数の仕組みについて知り、 $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加法及び減法の意味や計算の仕方について理解する。

### 3 指導計画（全11時間）

第一次	4時間	はしたの表し方
第二次	1時間	小数の仕組み
第三次	4時間	小数のたし算とひき算
第四次	2時間	練習・力だめし

### 4 単元の構想

本単元では、小数を用いて端数部分の大きさを表すことができることを知るとともに、小数の意味と表し方を理解させることをねらいとしている。

また、小数についても、加法及び減法ができることを理解させ、小数第1位までの加法及び減法の計算ができるようにすることも大切な指導内容である。その際、小数は整数と同じように十進位取り記数法によるため、小数点をそろえて位ごとに計算することや、筆算の手順を計算方法と関連付けながら指導することで、筆算の意味理解を図っていくことが重要となる。

### 5 本時の指導（9／11時間目）

#### (1) 本時のねらい

筆算形式の誤答をもとに、正しい筆算や計算の仕方を通して、位をそろえて（小数点の位置を合わせて）計算することを理解することができる。

#### (2) 本時の構想

本時では、筆算形式の誤答を取り上げ、正しい筆算や計算の仕方について考えさせる。そして、誤答の原因や正しい計算の仕方について考える過程を通して、小数の加法及び減法の計算の仕方についての理解を深めさせる。

誤りやすい加法及び減法の計算は、 $5+3.4$ 、 $1.6+4$ 、 $4-1.8$ などで、位をそろえることや繰り上がり、繰り下がりなどでの誤りが目立つ。そこで、このような誤りやすい問題を取り上げ、誤答の理由について説明させる活動を通して、位をそろえて（小数点の位置を合わせて）計算することの理解を深めさせたい。また、説明の際には、理解の定着を図るために、言葉だけではなく、具体物や式及び図などを用いて説明させるようにする。

(3) 展開

学習活動 (T: 教師, C: 児童)	・留意点 ◇評価
<p><b>1 問題を把握し, 学習課題を設定する。</b></p> <p>【問題】「シャボン玉えきのもと 3.6L と水 6L を合わせると、何 L になりますか。」という問題に対して、AさんとBさんが筆算で、答えを出そうとしています。2人の筆算について考えましょう。</p> <p>&lt;Aさん&gt;      3.6      &lt;Bさん&gt;      3.6                   + 6                            + 6</p> <p>C: AさんとBさん, どちらのやり方が正しいのかなあ。 C: 筆算は, 右側の位をそろえるんだっただけかなあ。 T: 2人の筆算は, どちらが正しいでしょう。</p> <p>【学習課題】 2人の筆算は, どちらの計算の仕方が正しいのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・実際に子どもたちに立式させ、誤答を扱うようにする。</li><li>・違いを意識させるために2人の筆算を並べて提示する。</li></ul>
<p><b>2 2人の筆算を比較して, 計算の仕方について検討する。</b></p> <p>T: どちらの筆算が正しいのか考えましょう。また, 理由も説明しましょう。</p> <p>C: Aさんの筆算が正しいと思います。理由は, 右側の位をしっかりとそろえているからです。</p> <p>C: Aさんの筆算だと, 答えが4.2になってしまいます。そうすると, 水の量の6Lより少なくなるからおかしいです。</p> <p>C: 10Lくらいになるはずだから, Aさんの筆算はおかしいよ。</p> <p>C: 図で表すとAさんの筆算はおかしいことが分かります。</p> <p>C: 6は6.0と考えなくてはいけないからBさんの方が正しいです。</p> <p>C: 小数の計算の場合は, 小数点の位置をそろえないといけないんじゃないのかな。</p> <p>T: 小数点の位置をそろえて (位をそろえて) 計算してみましょう。</p> <p>【まとめ】 小数の計算は, 小数点の位置をそろえて (位をそろえて) 計算する。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・2つの筆算を比較させ, 正しい理由を説明させる。</li><li>・見当をつけさせるように配慮する。</li><li>・図などに対応させて説明させるようにする。</li></ul> <p>◇小数点の位置を合わせて計算することを理解することができる。(児童の発言, ノート)</p>
<p><b>3 ひき算の問題について, 計算の仕方を考える。</b></p> <p>T: 4-1.8の計算を行いましょう。</p> <p>C: ひき算でも小数点の位置をそろえて (位をそろえて) 計算すればいいんじゃないかな。</p> <p>C: 繰り下がりにも気を付けないといけないね。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ひき算についても誤答を取り上げて検討する。</li></ul>
<p><b>4 学習を振り返る。</b></p> <p>T: 今日の勉強で分かったことをノートに書きましよう。</p> <p>C: 整数の計算と同じように小数の計算でも位をそろえて計算することがわかった。小数点の位置をそろえて (位をそろえて) 計算するようになりたい。</p>	<p>◇小数の加法・減法の計算のしかたを理解し, 正しく計算することができる。(ノート)</p>